

劇団民藝公演

伊藤孝雄
小杉勇二
山本哲也
境賢一
みやざこ夏穂
齊藤尊史
吉岡扶敏
天津民生
塩田泰久
吉田正朗
本廣真吾
大野裕生
平野尚
保坂剛大
橋本潤
愼将吾
桜井明美
中地美佐子
仲野愛子
清水川千紘

上野黎也
[劇回ひまわり]
佐藤凌
[立花プロダクション]

どうしてもとり返しのつかないことを
どうしてもとり返すために――

夏・南方のロマンス

神と人とのあいだ 第二部

作 木下順二 演出 丹野郁弓

装置 島次郎 照明 前田照夫 衣裳 緒方規矩子
効果 岩田直行 擬闘指導 森岡隆見



作=木下順二 演出=丹野郁弓

夏・南方のローマンス

神と人とのあいだ 第二部

生涯をかけたテーマとして戦争責任の問題を追及した木下順二。『夏・南方のローマンス』は、一九八七年に宇野重吉演出で初演、二〇一三、一八年に丹野郁弓の演出により上演しその今日性がふたたび鮮烈に蘇りました。庶民の目線から戦犯裁判を見つめることで、日常的で人間的な人びとの愛や苦悩が壮大な構想の下に描かれています。

【あらすじ】敗戦直後のとある公園。ある上等兵が南方の島で絞首刑を宣告された。愛人であった女漫才師は、ある日ついに彼の妻に会いに行く。折から通りかかった彼の戦友たち。なぜ彼は絞首刑を宣告され、なぜ戦友たちは助かったのだらう？ やがて明らかになっていく南方でのBC級戦犯裁判。悪い夢だった、とつぶやく戦友、夢ですまされるか、とかみつく女漫才師、もう何もかも忘れたらという上等兵の妻。いったい誰が誰を裁いたのか？ やり場のない憤りに身をもてあまし一人残された女漫才師の心に、上等兵はたしかに生きつづけているのだった……。



中地美佐子



桜井明美



山本哲也



小杉勇二



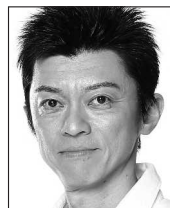
伊藤孝雄



天津民生



吉岡扶敏



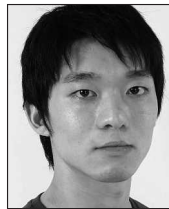
齊藤尊史



みやざこ夏穂



境賢一



平野 尚



大野裕生



本廣真吾



吉田正朗



塩田泰久



佐藤 凌

〔立花プロダクション〕



上野黎也

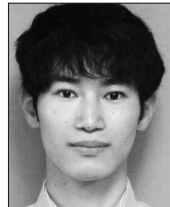
〔劇団ひまわり〕



清水川千紘



仲野愛子



慎 将吾



橋本 潤



保坂剛大